

おいらせ町庁舎整備検討委員会（第5回） 議事の概要

日 時 平成25年7月2日（火） 14時～15時

会 場 おいらせ町役場本庁舎2階庁議室

出席者 委員12名（木村雅行委員長、久保田良一委員、石川宏之委員、佐々木秀智委員、永井紀昭委員、福原仁一委員、山内正夫委員、市村堅二郎委員、熊野勝則委員、工藤一雄委員、種市恭子委員、松田美穂子委員）

事務局5名（行政管財課：田中課長、松山課長補佐、総務課：松林課長、成田課長補佐、企画財政課：小向課長）

1. 開会

・委員長あいさつ

みなさんこんにちは。いよいよ本日が最終回ということになりました。半年近くに亘って皆様にはご出席いただきました。そして貴重なご意見を賜りありがとうございます。本日はまとめということです。できるだけみなさんのご意見、統一というのは難しいのかもしれませんが、方向性を出していきたいと思えます。最終回としてふさわしい内容となるようにご協力をお願い申し上げて、簡単ですがあいさつとさせていただきます。

2. 案件 議事進行は委員長

（1）庁舎整備検討報告書（案）について

・資料1により、事務局説明。

この「庁舎整備検討報告書（案）」については、これまで4回に亘る委員会で議論した内容や資料を整理したものです。前回は「基本方針（素案）」としておりましたが、「報告書」に変えさせていただきました。この報告書を踏まえて町としての庁舎整備の方針を決めるということになります。

本日はこの報告書の内容について最終確認していただき、追加訂正等していただき、正式な報告書として後日、委員長から町長に報告していただくこととなります。

1～11ページ 特になし

12～15ページ（前回の委員会の意見を整理したもの） 特になし

14ページ 事務局：もう少し意見集約できるか確認したい。

（3）候補地（エリア）①から⑤について

委員長：このまま載せるか？それともある程度絞るか？

F委員：⑤は不要、④は委員会の判断、③も不要、①と②のみで良い。

委員長：③は不要か？

K委員：残してほしい。むしろ④、⑤は不要。

委員長：消去法でいくと⑤は全委員の意見として外しても良いか？

H委員：メリット、デメリットはどの候補地でもそれぞれある。⑤は津波の浸水区域で防災上不適切だというデメリットもあるが、中心商店街の活性化の観点からはメリットがあると思う。それらを踏まえた上で最終的な判断となる。一応検討したという記録、形跡として残した方が良い。

委員長：⑤は自分もいろいろと関わってきた地区であり、商店街の衰退は町の衰退につながるものであり危惧しているが、責任ある立場としては、安易に⑤を候補地として挙げるのは、防災上の観点からも、真に商店街の活性化に寄与するかどうかも含めて疑問であり、リスクが高いと思う。⑤は外しても良いか？

⇒多数が賛成。

委員長：委員の多数の意見により⑤は外すこととする。③と④はどうか？

④は外しても良いか？

⇒多数が賛成。

H委員：④はコスト削減の意味で町民の中でも意見が多いと思う。最終的には町長や議会の意見により候補地は決定されると思うので、この委員会で検討した候補地をあえて絞らなくても良いと考える。

委員長：基本理念やコンセプトに一番合致しないのがこの④だと思う。

H委員：コンセプトの⑧に経済性とある。

Y委員：将来、病院も併設する考えがあるかないかも候補地の判断材料の一つとなる。④の敷地に病院併設も可能であれば残すべき。

委員長：今は病院についてはあまり考慮しないで判断していく。

T委員：コストだけではなく、旧両町の住民感情を考えれば、場所がどちらかに偏ってしまうのは問題であり納得が得られないと思う。実際に車で間木・百石1号線を通ったが景観も良くイオンモール下田に近いので、候補地として最適だと思う。

委員長：間木・百石1号線というのは、イオンモール下田の裏側から間木堤の方に向かって、国道45号と並行して高台を走っている道路のこと。候補地を絶対一つにまとめなければならないというものではない。

I委員：この委員会で候補地を決定するのではない。あくまでも報告書で

あり、最終的な候補地の決定は全て町長、町側に任せれば良いので、委員会としては①から④まで全て残した方が良いと思う。

S委員：こういう報告書を作る際に、エリアとしては確かに絞らなければならない。ただまとめ方として審議経過でこれだけ検討して落としていったと書けば良いと思う。行政側として委員会の答申は、ある程度この候補地の意見が多かったという形の落としどころが望ましいと考える。

委員長：事務局に確認したい。もっと絞った方が良いか？それともこの4つでよいか？

事務局：委員会でいろいろ出された意見は事実として載せるべきだと思う。前回の委員会の議論で、5つの候補地の中でさらに将来を見据えて考えた結果、やはり経済波及効果等を考えると①のイオンモール下田周辺、国道45号と間木・百石1号線沿いという意見が多かったと認識しているが、そういうまとめ方で良いと思う。最終的に今日どうなのか確認していただきたい。

委員長：①の候補地には何人が賛成とかは不要で、最終的には四角で囲んだ①の候補地の意見が多かったという記述でよいか？⑤は外すことでよいか？最終確認する。

⇒了承された

事務局：イオンモール下田周辺という言葉だけではそのゾーンがはっきりしていない。事務局としては地図上に表示するか検討したが、特定してしまうので良くないという判断で、このように記述のみとしたが、イオンモール下田の東側もありなのかどうなのか確認したい。

委員長：具体的にという時間がかかるが良いか？事務局としてはそれ以外の検討事項はないか？

事務局：言葉だけでは具体的なゾーンが明確ではないので、表現としてもう少しこの辺からここまでとした方が良いのか？ご意見を伺いたい。

H委員：イオンモール下田の東側は考えられない。イオンモール下田の敷地も浸水区域、30センチ浸水する恐れがあると県から示されている。

委員長：イオンモール下田はオープンから20年目になるのにあたり、全面リニューアルしようとしているが、今の場所から動くことは考えていない。浸水区域でも確率の問題なので、経済の発展性を考えれば多少のリスクはどこまで譲歩するかということになる。

H委員：あえて浸水区域に防災庁舎を建てるというのは先程の百石本町地区商店街と同じことではないか？イオンモール下田に近い東側ではなく、高台の工場がある辺りが良いと思う。

委員長：F委員は間木・百石1号線沿いということで前回の意見と変わらないか？その間のゾーンでは東側が良いのか、西側が良いのか？

F委員：前回と同じであるが、イオンモール下田により近い東側が良いと思う。

U委員：間木・百石1号線の延長は何キロくらいあるのか？

事務局：約1キロ位である。

委員長：国道からは何メートル離れているのか？

事務局：200メートルから300メートル位だと思う。

T委員：間木・百石1号線の北側もあるが、庁舎と駐車場は道路を挟んでということもあるか？

委員長：今は東西の話をしているので、南北は考えなくても良いと思う。

U委員：用地の確保もあるので、将来、他の公共施設も併設するのであれば、下田公園に近い西側の方が良いと思う。

T委員：何もイオンモール下田に近くなくても良いのではないか？

H委員：東側は民家が既にあるのではないか？

U委員：東側より西側の方が高い。最近海拔表示したがかなり違う。

委員長：浸水区域ではないので東側でも大丈夫だと思う。

U委員：あの辺りは全部私有地か？

事務局：町有地はない。

H委員：遊休地があるかどうか、地権者との交渉がどうかということで最終的に決まるので、現段階でエリアを絞っても意味がない。現地を見ないと土地勘もないので分からない。まとまった用地を確保できるかどうかで立地場所は変わることになる。

事務局：エリアのゾーンがほぼ分かったのでこれ以上は結構です。

U委員：主に東側は畑、西側は山林となっているので、JAとしては農地を守る立場なので西側が良い。

H委員：都市計画区域内なのか？

事務局：都市計画区域内で調整区域である。

H委員：以前は調整区域でも庁舎は建てることができたが、今は法改正により庁舎建設は厳しくなっているが、その辺の線引きの見直し等も今後検討して行くということか？

事務局：その辺は今後、必要な見直しを検討していくことになる。庁舎建設に至るまでにある程度時間がかかる可能性がある。

R 委員：あの辺は埋蔵文化財の包蔵地でもあるので、建設する場合に発掘調査をする必要がある。

I 委員：我々は検討したことを報告するだけで、後のことは町側で考えることである。

委員長：15 ページはこのままで良いか？あと他に言い忘れたことや、報告書に誤字脱字等がありませんか？

⇒15 ページ 特になし

事務局：委員会の開催状況も最後に載せることにする。

委員長：それでは後は事務局の方で何かありますか？

事務局：昨年の11月29日の第1回の委員会から今日まで約8か月間に亘り委員の皆様にはお忙しい中、ご出席していただき、町としての今後を左右するような重要なテーマを真剣に議論していただきまして、ありがとうございました。

今後は、委員の皆様からいただいた貴重な意見が集約された、この報告書の内容を踏まえて、三役に説明し、内部で十分協議して最終的な町の庁舎整備の方針を決定していきたいと考えております。この報告書の内容については議会へ報告し説明する予定であります。議会からの意見も聴きながら、町としての基本方針が決定されれば、今年度中に設計の基となる基本計画の策定を目指すものであります。